



discrete figures

ディスクリート
フィギュアズ

ELEVENPLAY

イレブンプレイ

Rhizomatiks Research

ライゾマティクス リサーチ

Kyle McDonald

カイル・マクドナルド

discrete figures 2018年8月31日(金)・9月1日(土)・9月2日(日) スパイラルホール

演出・振付=MIKIKO ビジュアルデザイン=メンタリクシヨウテイザイン・テクニカルディレクション=Rhizomatiks Research CAST=ELEVENPLAY

音楽=Daito Manabe, Hopebox, Kotringo, Krakant, Setsuy & Kuroraki, Seiho

開演時間=8月31日(金) 19:00~、9月1日(土) 14:00~18:30、9月2日(日) 14:00~18:30 チケット料金は5000円、5000円、10000円(各税別)

会場=スパイラルホール(東京都港区南青山5-6-23 スパイラル3F) E-mail: discrete@rhizomatiks.com URL: http://rhizomatiks.com/event/discrete_figures

主催・企画制作=株式会社ラゾマティクス 会場協力=株式会社フコールドセンター 協賛=カネボウ化粧品株式会社 協賛=東京文化財団 アーティストインレジデンス



AI、機械学習を通じた、未知のダンス表現への挑戦

パフォーマンスアートとしてのダンス表現に、インスタレーションやメディアアートの視点からのアプローチをとりこみ、未知なる斬新な発想と完成度の高さによって世界的に注目されてきたRhizomatiks ResearchとELEVENPLAY。その両者に、USのメディアアーティスト&リサーチャー、カイル・マクドナルドが加わり、彼らのコラボレーションから生み出された最新作のダンスパフォーマンス作品が「discrete figures(ディスクリート フィギュアズ)」だ。

本作は、身体表現と数学を接近させ、数学的解析から生み出される身体像や所作の運動表現と、生身の身体との関係性を追求するステージ作品である。さらに、ドローンやAI、機械学習を通じて、新たな運動の探求を構築することによって、人間の主観や感情表現を越えた、未知のダンス表現を作り出そうとする、真に挑戦的な新しい試みとなる。

ここでは、近年Rhizomatiks Researchが取り組んできたメディアテクノロジーを進化させた先鋭な表現の洗練に加え、先端的な演出技術への挑戦として、最新の機械学習の研究成果を取り込み、全く新しい知的なコレオグラフィーによる身体表現を可能にする。ダンスを、従来のように一個人の演出家の主観性によるものから捉えるのではなく、AIと機械学習による組織化を通じて身体像と運動を捉え直し、その数値データと分析結果をダンス表現とコレオグラフに導入する方法をとる。またステージは、インタラクティブインスタレーションとしての空間構造も意識されている。様々なルール、アルゴリズムの元でステージ上の複数のオブジェクトが、ダンサーによる身体表現に対応した動きを構成する。「discrete figures」は、これまでにまったく実現されていない数学的・集合知的な方法からの未知の身体性を探求するステージである。

本作は、身体表現と数学という行為、そして数学によって生み出された身体と生身の身体の間わりについて描いたダンス作品である。アラン・チューリングは「脳」を数学を用いることによって「身体」の外に対象化し、自分の「身体」の外に拡張することで、もう一人の自分を作り出した。他人から見ればもう一人の自分は身体とは切り離された存在だが、チューリングにとってその身体は他者ではなく身体そのものであり数学をすることで生み出された鏡である。

真鍋大度

Rhizomatiks Research

技術と表現の新しい可能性を探求する部門。メディアアート、データアートといった研究開発要素の強いプロジェクトを中心に扱い、まだ見たことのないモノ・コトを世の中に発表していく。ハード・ソフトの開発から、オペレーションまでプロジェクトにおける全ての工程に責任を持つ。また、人とテクノロジーの関係について研究し様々なクリエイターとのコラボレーションワークを実践していく。

真鍋大度

アーティスト、DJ、プログラマー。2006年Rhizomatiks設立。2015年よりRhizomatiksの中でもR&D的要素の強いプロジェクトを行うRhizomatiks Researchを石橋素氏と共同主宰。プログラミングとインタラクションデザインを駆使して様々なジャンルのアーティストとコラボレーションプロジェクトを行う。米Apple社のMac生誕30周年スペシャルサイトにて11人のキーパーソンの内の一人に選出。ビートメーカーNossaj Thingとのコネクト・フェスティバル出演等、海外フェスにも多数出演されるなど国際的な評価も高い。

ELEVENPLAY

MIKIKO率いるダンスカンパニー。女性ダンサーのみで編成されており、舞台、映像、スチールなど、表現の場を様々な持つ。Rhizomatiks Researchとのコラボレーションを多く行っており、「Sónar Festival」、「Festival Internacional Cervantino」、「MUTEK MEXICO」、「MUTEK Montréal」、「Gray Area Festival」に招聘されるなど、活躍の場を海外にも広げ、精力的に活動している。

石橋素

エンジニア/アーティスト。東京工業大学制御システム工学科、国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)卒業。デバイス制作を主軸に、数多くの広告プロジェクトやアート作品制作、ワークショップ、ミュージックビデオ制作など、精力的に活動を行う。過去に、Ars Electronica 展賞賞、文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。2015年より、アート、テクノロジー、エンターテインメントを活動の中心とした研究開発部門「Rhizomatiks Research」を真鍋大度と共同主宰する。

チケット情報

e+ イープラス

PC/携帯= <http://eplus.jp>

直接購入=ファミリーマート

販売期間=7月27日(金)10:00 - 8月30日(木)18:00

前売5,500円/U18学生種特別優待席2,000円(席数限定)

開演時間

8月31日(金) 19:00~

9月1日(土) 14:00~/18:30~

9月2日(日) 14:00~/18:30~

受付=開演の60分前 開場=開演の30分前

お問い合わせ先

Tel=03-5778-4571(受付時間 平日12:00~18:00)

E-mail=discrete@rhizomatiks.com

URL

https://rhizomatiks.com/s/event/discrete_figures

会場

スパイラルホール(スパイラル3F)

〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23

Tel=03-3498-5936(会場直通・当日のみ)



地下鉄表参道駅(御成橋・千代田線・半蔵門線) ■B1/B3(エレベーター)出口
Omote-sando Sta. (Ginza-line, Chiyoda-line, Hanzonome-line) B1/B3 Exit

MIKIKO

演出振付家、ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」主宰。

Perfume, BABYMETALの振付・ライブ演出をはじめ、様々なMV・CM・舞台などの振付を行う。メディアアートのシーンでも国内外で評価が高く、新しいテクノロジーをエンターテインメントに昇華させる技術を持つ振付家として、ジャンルを超えた様々なクリエイターとのコラボレーションを行っている。

カイル・マクドナルド

1985年生まれ。アーティスト、openFrameworksなどのアートとエンジニアリングのためのツールキット開発に因るほか、アーティストが新しいアルゴリズムを創造的に使うことができるようなツールの構築に注力している。活動においてはプロセスを重視し、プロジェクトが完了する前からアイデアなどを公開し、共有している。代表作に「People Staring at Computers」[2011]、「Light Leaks」[2013]、「(群衆を書き尽くす)」[2015]、「How We Act Together」[2016]など。